

ヒューマンケア通信 (Vol.9 H23年3月15日)

=東北関東大震災のTV報道を福井で見て=

まず、お亡くなりになった方の冥福をお祈りします。

また、被災された方が1日でも早く生きる希望を取り戻されるよう願うとともに、その支援のため、全力を尽くされているであろう政府、地方公共団体や医療関係者の方の無事と健康を願うものです。

さて、今回は、9日から仕事で福井にいましたが、11日の地震発生から4日間で感じたことをまとめました。

<3月11日(金)>

10日午前、義兄の東北出張に出たのと相前後して、姉の体調が悪くなったとの訴えで、移動中の義兄との連絡、かかりつけ医の往診、福井県立病院への送迎の手配(地元でハウスキープをお願いしている障害者就労支援事業者の活用で)等を行い、結果的に脳の断層撮影の実施、脳梗塞には悪化していないことを確認し、夕方には自宅に戻るといった事件がありました。

その一連のことを思い出しながら今後のことを考えつつ、NHK BS2で「篤姫」の最終回の再放送を見ていたとき、「緊急地震情報」で、放送が中断。東北、関東地域で大きな地震とのこと。家族と離れているときの大きな地震でしたので状況を見ています。結構な揺れの様子。15時ごろに家族3者に安否確認のメール、次女以外は返事があり「次女は連絡がない」と返信したところ、しばらくして長女から福井の実家に電話。「加奈は大丈夫。電話を30回し繋がった。福井も同じくらいかけた。」とのこと。

東京の家族間では、うまく連絡がつかない様子で、福井を拠点にTVの情報等をみながら、配偶者、長女、次女とメールで交信し、最終的には、次女が小学生の長男を学校で引きとり夕食の手配、高校の保護者会に参加していた配偶者は帰宅難民で22時帰宅、バイト先で行動判断の遅れた長女も最終的には自己の人間関係を活かして友人のバイクで拾ってもらい24時過ぎに下宿に帰宅と、幸いなことに、比較的早い時間で、公共的なサービスのお世話にならずに問題解決となりました。

東京都が公共施設を開放したことは報道されていましたが、翌日の仕事先で知り合った人と話をしたところ都内の私立大学も施設を開放したとの話を聞いたものの、それを報道するものは、まだ、見ていません。こうした立場を超えた社会貢献の姿勢は、もっと皆さんに知られるべきでしょう。

また、翌日のネットニュースで見た次の記事(翌々日に地元紙でも掲載)も勇気づけられました。悲惨さを報道するだけでなく、こうした日本のよさを再確認する報道姿勢を、こういう時だからこそTVにも持って欲しいものです。

救助ヘリで被災者を救助している横で、報道ヘリがホバリングして撮影しているのは、いかにもおかしいものです。官房長官が要請したのも当然です。映画とは違うのですから・・・

<共同通信>

短文投稿サイト「ツイッター」の中国版「微博」では、ビルの中で足止めされた通勤客が階段で、通行の妨げにならないよう両脇に座り、中央に通路を確保している写真が11日夜、投稿された。

「(こうしたマナーの良さは)教育の結果。(日中の順位が逆転した)国内総生産(GDP)の規模だけで得られるものではない」との説明が付いた。

この「つぶやき」は7万回以上も転載。「中国は50年後でも実現できない」「とても感動的」「われわれも学ぶべきだ」との反響の声があふれた。大震災を1面で報じた12日付の中国紙、環球時報も「日本人の冷静さに世界が感心」との見出しで報じた。



<3月12日>

朝、国立病院機構時代に関わった岩手、宮城、福島の各病院の状況を確認するため、HPを検索すると、岩手では2病院、宮城では3病院がアクセスできない状態。停電もあるので当然なのですが、このうち4つは、重症心身障害者の専門病棟（通常1F）を持つ病院であり、報道されないものの非常に心配です。地理的・地形的には、特に海岸線から2Kmのところ宮城病院（6kmまで津波が来たとされる亶理郡に所在）があり、建替えたばかりで地震は大丈夫と思うものの、1・2Fは障害者病棟であり・・・無事を祈るばかりです。東北ブロックで働く2名の営繕職の元部下も。

さて、日中の仕事を終え夕刻実家に戻ると、福島第2原発（炉心溶解）の報道が・・・。地元福井は4か所13基の全国最大数の原発があり、事故を起こした高速増殖炉の「もんじゅ」もあり、福島の事例は他人事ではありません。また、過去の仕事でも、東海村の臨界事故における医療保険適用問題（被ばく検査等）や、その後の原子力災害発生時の国の対応を検討する会への出席等の関わりもあり、当時感じた「原子力専門家と言われる人たちへの違和感」を思い出しました。

関わった立場は、原子力災害が生じた場合における、周辺住民への対応に必須なヨウ素剤（今回も使用が検討された）の備蓄・使用についてです。原子力災害では放射性のヨウ素が放出され、それを体内に取り入ると甲状腺に集まり甲状腺がんの原因になりますが、それを予防するには、ヨウ素剤（放射性ではない）の摂取が唯一の方法です。一方では、ヨウ素剤は、使用方法によっては、ショック等により死亡することもあるので、医療用の医薬品とされており、備蓄する際の基準は厳しく、使用も本来医師の処方が必要できません。

この災害時の一斉対応と医薬品規制との調和をどうとるかとの点で、関わることになりました。本来、この検討会には厚労省は無関係だったのですが、この会に参加されていた医師の方が、会の中で発言しても、あまりに「言葉が通じない」ので、厚労省に応援を頼まれ、やむを得ず参加したという経過でした。その際の印象は、

「厚労省が医療事故や医薬品事故が起きるという前提で対策を考えている姿勢とはだいぶ違う」

「一斉対応の際も（状況もわからない）医師が指示を出せばよいと発言するなど非現実的」

「一斉対応で副作用が起きても、医薬品なのだから補償は厚労省という発言は当事者意識がない」というものでした。原因は原子力事故であり、仮に起きたら責任を引き受けるという姿勢は個人的に感じられなかったことを記憶しています。

今回の件で、原子力安全・保安院（東海村臨界事故で新たにできた組織）のHP（原子力災害発生時の住民の対応）を見て、また一連の保安院の「具体性に欠けかえって不安感をかえって煽る」報道対応を見て、当時と同じように感じました。組織名を変えただけでは、何も変わらないということでしょうか？本件の結末はわかりませんが、原子力発電自体の必要性は個人的には理解するものの、危機管理時の報道対応については、もっと配慮が必要でしょう。記者発表の際に自分の説明内容がわからず、周りを振り返るような姿が全国に広がるようでは・・・それだけで信頼失墜です。

<原子力安全・保安院HPから>

原子力災害とは、原子力発電所等において放射性物質（放射能）や放射線が漏れてしまい、国民の生命、身体又は財産に被害が生じることを言います。しかし、実際には、多重の防護設備や万一の事故時における教育を十分に受けた運転員等の的確な対応などにより、そのような事態に至ることは殆ど考えられません。万々が一、事故が発生して、放射性物質が放出されるような事態になったと想定した場合でも、住民の皆さんの健康に影響を与え得るほどの量が放出されるまでにはかなりの時間があります。国・自治体から出される情報を正確に入手し、落ち着いた行動をとることが重要です。ここでは、原子力災害が発生した時に、住民の方々が取るべき行動について、説明します。

<3月13日>

朝、国病関係のHPを検索すると岩手2、宮城1がアクセスできず。宮城病院も一応復活していましたが、東北・北海道ブロックの中心病院である仙台医療センターが未だアクセスできず。宮城県の患者受入情報でも名称も出ず・・・心配していたら、15時ごろのNHKで仙台医療の院内の様子が流れ一安心。

朝から 相変わらず東北関東大震災の現場報道を中心としたTV報道が続く3日目。何度、同じ映像を見て、コメント聞いたか・・・また、これらのTV報道は誰が見ているのだろうか？ 誰に向けたものだろうか？ 疑問が尽きません。停電も復旧も遅れ、携帯の充電も切れたであろう今、被災した人、被災地で支援する人の多くは見ていないに違いありません。ぜひ被災した人々に向けた情報を提供する形を考えて欲しいものです。数多くのカメラマンを現地に送り込み、ほぼ同じ映像を垂れ流すエネルギーがあれば、その力を避難場所の情報環境整備に使えないのか？ 避難所間の情報分断で、家族の安否も確認できない人が多いと自ら報道するのであれば、自分たちの報道通信ネットワークを使って、民放連で避難所単位で安否確認デスクを作れないのでしょうか？

今知る権利を行使すべきは被災した人たちのはず。いつも、知る権利を振りかざす報道機関には、まさしく、そこにエネルギーを注入して欲しいものです。

また、NHKも地デジ（総合・教育）でもBS（1・2）でも同じ内容を流すだけ。BS1で始まった1時間に10分の生活関連情報は、地元では常に知りたい情報。親類も安否情報等を知りたいはずであり、教育・BS2は、こうした専用チャンネルにして、連続して情報提供できないのでしょうか？ 避難所で紙に安否情報を書いて張りだす姿を映すのではなく、その情報自体（〇〇避難所、〇〇さん滞在、〇〇さんを捜しています）等を流せば 皆に喜ばれるはずと考えます。

被災地の特異映像（屋根にある車等）を、競うように伝えるのではなく、以上のような地元向け、地元同士、地元と他地域の人をつなぐ情報提供・情報伝達が、NHKも民放も本当に求められている情報ではないのかと考えます。これらの人が一番、情報が必要なのですから。スタジオ内で、何もしないで政府の動きを批判するだけの民放の評論家の皆さんの話よりは、有益な情報提供に違いありません。今回はTVの存在意義が本当に問われていると感じます。

さて、この段階になると、現地に入った記者等の一面的な報道や、政治家の皆さんの現地入りの行動で、現場の行動が乱される可能性が高まります。神戸震災のときに、厚労省も現地事務所を設けたのですが、その時の駐在者から聞いた話を思い出します。

「1人、2人のインタビューで『〇〇が足りない。政府・自治体は何をしているのか？』」と報道されたが、その物資は実は足りており、保管処分に困るくらい全国から集まった。本来の仕事が遅れた。」
「国会議員が、何人もやってきて、その都度、同行を求められ現場の仕事が進まない。しかも議員が東京に戻り、現場のニーズと違うことを発言し、無意味な仕事が優先され、本来の仕事が遅れた。」
すでに、この兆候が出はじめてるように懸念します。

「自治体でできない場合には、国が直接出て対応する・・・」との発言が政府首脳からあったようですが、地元を知らない国の人間に何ができるのでしょうか？ 実際には県庁でも仕切れないはずです。市町村抜きには。

仮に国が入っても、かえって手間が増え、現場が混乱するだけです。現場の指揮命令系統は単純であるべきです。国は、現場の指揮官が必要とするものが迅速に使えるように全国から手配・調達し、現場に届けることに力を注ぐべきだと思います。国にしかできないことを。福井でも、ある大学生がブログで支援物資の提供を呼びかけたところ、千人以上が支援物資を持って駅周辺集まり、処理に困る自体が生じたとのこと。やはり、想いは大事ですが、それを実現する「ロジ（兵站・補給）」の体制抜きの行動はかえって混乱を生むだけです。

また、TVも既に神戸のときと同じことが起き始めています。本日も、現場のインタビューで「〇〇が足りない」と報道するとスタジオの評論家が「政府の対応が遅い」と、今の弱体な政権に圧力をかけるというやりとりを何回か見ました。これを受けた政府が、「保身」のため無駄に現場に確認を強いるなど、現場が混乱しないか心配です。

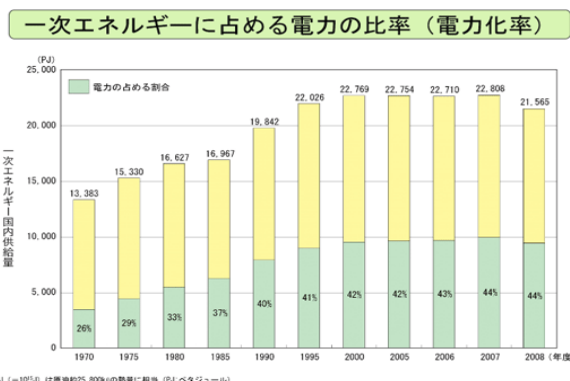
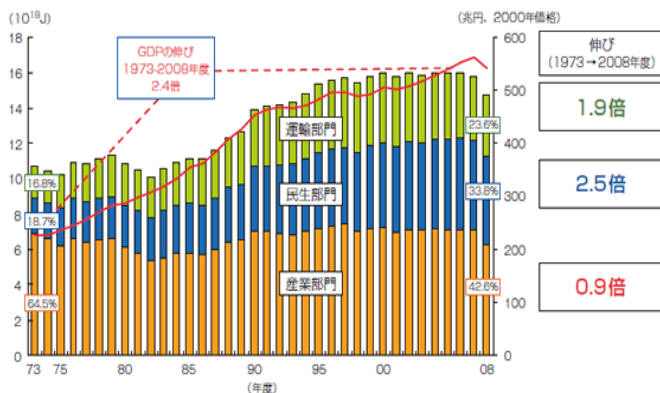
<3月14日>

被災者の生死を分けると言われる72時間が経過。自衛隊、警察、消防、医療、自治体の人々が疲れた中、頑張られる姿には頭が下がります。

NHKも安否情報を教育、BS2で始めましたが、残念ながら電話での申し込み方式で、停電地域等にいる人には使えないもの。民放も協力して、放送通信網を活かした避難所間の安否確認の支援はできないのでしょうか？一方、民放は、朝から多くの局は通常放送を開始。昨日までの特番の連続とは様変わり・・・。

さて、東京電力の計画停電は、政府、与野党、地方公共団体、マスコミの非難的になりました。福島原発も問題解決せず、あわせて関東の計画停電の問題への対応と、きっと社内は大混乱でしょう。それぞれの立場で東京電力を非難するのよやむを得ないと思いますが、大混乱の社内状況に、外部からあまりプレッシャーをかけると、かえって動きを鈍くする可能性もあり個人的には心配です。今は一分でも動きを早くすることに力を注いでほしいものです。

初日は、東京の朝の出勤の混乱と、結果として、夕刻における4県の一部地域（避難所も停電に）での実施で終わりました。当初想定した以上の節電により実施せずに済んだということなのでしょうが、いかに東京地区の生活が、脆弱な基盤の上にあるかを実感しました。左下図は日本のエネルギーの使用部門別の状況ですが、一般家庭のほか、ビル、デパート、病院等の使用量が高く伸びています。私たちの生活の贅沢さが今の混乱の根底にあるということです。さらにこのエネルギーの伸びの中で、電力の依存が高まっていることも問題に拍車をかけているようです。



産業部門は省エネ対策で世界でもトップクラスの水準のようですが、私たちの生活は、まだまだ考えるべきことが多いようです。14日は、東京23区も中心部を除き全て対象でしたが、15日の予定は、東京23区のうち足立区、練馬区、目黒区以外は対象外と、より保護される地域は拡大しているようです。しかし、その地域内ある家庭も、電力消費を抑えることで計画停電の対象地域の停電発生を抑えることができます。その意味では、今回の計画停電は、地域連帯の意志を試しているのかもしれませんが。

また、この事態が終わった際には、社会インフラ（ライフライン・鉄道・信号等）への電力供給を独立系統にする、地域完結型の電力需給システムを構築するなどを検討していただきたいと思いますが、今は、首都圏に住む一人ひとりの小さな努力を結集できるかが重要です。最後は「人」です。

最後に 明日から東北も寒くなるとのこと。政府や自治体の努力が間にあって、避難所の皆さんの健康が守られること、そして福島原発周辺での生活が再開することを祈るばかりです。